



躍動する午(うま)年へ。いづみ寮で行われた干支の置物の窯出し(7面に関連記事)



### CONTENTS

- P3** クロイツァーゆかりのピアノコンサート
- P4** アートギャラリー特別展
- P5** 南愛媛療育センター開設10周年
- P6** 旭川学園 起工式
- P7** 星野仙一杯ティーボール大会
- P8** 岡山東ロータリークラブより白梅植樹

# 旭川荘 だより

vol.

# 185

2014.01.01 発行

発行/社会福祉法人 旭川荘  
 〒703-8555 岡山市北区祇園866  
 TEL 086-275-0131 FAX 086-275-5640  
<http://www.asahigawasou.or.jp>



クロイツァーが弾いたピアノ修復完成記念コンサート(3面に関連記事)



## 星野監督の「あきらめない」の教えを力に

理事長 末光 茂

プロ野球の日本シリーズで「東北楽天ゴールデンイーグルス」が巨人を接戦の末破り、日本一に輝きました。この優勝は東北の被災地の方々だけでなく、多くの国民に感動を与えました。星野仙一監督には岡山県知事特別表彰ならびに倉敷市民栄誉賞が贈られました。

星野監督は選手に「楽天が優勝することで、被災地を励まし、癒そう」と訴え続けました。野球を通じ社会貢献を目ざすなかで、潜在能力を引き出し、持てるもの以上をチームとして結集し、優勝に導いたのです。

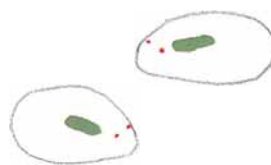
「楽天」の優勝から一夜明けた11月4日には、岡山ドームで「星野仙一杯争奪第3回西日本肢体不自由児ティーボール交歓大会」が開催されました。今回から島根県チームが加わり、5チームの間で熱戦が繰り広げられました。5試合中3試合が1点差だったことから、それがうかがえます。

「旭川療育園」のK君の活躍ぶりには、特別大きな拍手が送られました。レフトフライを好捕のうえ、一塁への見事な送球で一塁走者を刺し、追い上げられつつある勢いを封じました。その次の回には満塁でホームランを放ち、準優勝にも大きく寄与しています。彼の背番号は星野監督と同じ

77。監督の教え「あきらめない」「勝ちにいく」そのもののプレーでした。

もうひとつ、感動した場面があります。車椅子打者の代走の小学生のか細い男の子に、お母さんがスタンドから身を乗り出して声援を送っていました。「あの子が立てるとは思っていなかったのに、今走ろうとしています」と。よく見ると走るというよりは、ゆっくりとした歩行に近い様子。しかし、全身にみながる走ろうとする気持ちは、遠くから見る者にも伝わってきました。スポーツの、それもチームがもつ力の大きさを見せつけられた思いがします。

星野監督おめでとう。そしてありがとう。



## 新年のご挨拶

旭川荘友の会 会長代行 延原 正

新年を迎え、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

郷土岡山の誇り星野仙一監督率いる「東北楽天ゴールデンイーグルス」が、地元ファンの後押しと勝利に向けたチームワークで日本一に輝きました。この快挙は、東日本大震災の被災地との約束を果たし、計り知れない感動を与え夢と希望を与えたことでしょう。

また、監督との30年にも及ぶ長いおつきあいの旭川荘の皆様にも「頑張る力」を与えられたことでしょう。十数年前にティーボールグッズを贈呈され、子供達にティーボールの試合を通じて勝つという目標に向かう心と、負けたときの悔しさをバネにして頑張る心を育む貴重な体験をプレゼントされたものと思われまます。現在は岡山ドームを会場に星野仙一杯の西日本交歓大会が開催されており、笑顔の子供達であふれているとお聞きしております。

旭川荘友の会といたしましても、旭川荘のいろいろな分野での活動に力を尽くしてご支援させていただきたいと存じます。

旭川荘家族会等連絡協議会 会長 宮川 健吾

新年を迎え平和で明るい年でありますよう。今年も各施設の活動、支援にご協力お願い申し上げます。

「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」との素晴らしい言葉があります。為すべきことを成し遂げて、はじめて得ることの出来る自信と勇気は、人生にとって何事にも勝る宝物ではないでしょうか。

しかし、為すべき事を成し遂げる以上に大切な事があることを忘れてはなりません。それは「為すべきことは何か」を決める事です。為すべき目標をきっちりと定め、それに向かって、その時その場において懸命に頑張ることこそ、私たちの人生において最も大切な事ではないでしょうか。今年も元気で皆様と共に頑張ってみましょう。



## クロイツァーが弾いたピアノ 修復完成記念コンサート開催

戦後間もなく国内製造され、世界的なピアニストのレオニード・クロイツァー(1884-1953年)が天満屋葦川会館のこけら落し公演で弾いた、旭川荘のピアノの修復が完了。お披露目の記念コンサートが11月8日、旭川荘厚生専門学院で開催されました。

ピアノは昭和27年(1952年)に製造されたホール向けフルコンサートグランドピアノ。同時期に出荷された約20台はほとんど廃棄され、現役で残る“希少な1台”とされています。老朽化のため5月から群馬県の工房で修復を行い、旭川荘に戻ってきました。

コンサートに先立って江草彦彦名誉理事長が、昭和28年の葦川会館落成時に天満屋がピアノを購入、その後旭川荘に寄贈され同学院で30年以上にわたって大切に弾き継がれてきたことを紹介しました。また、ピアノを調査し“文化遺産”ともいえる価値を明らかにした、東京藝術大学の瀧井敬子客員教授が、自らの芸術への思いとともに、文化を紡ぎ次世代につないでいく活動の一環として創設した「グラチア音楽賞」について解説。「第1回グラチア音楽賞」を国内外で活躍するピアニスト川崎翔子さんに授与しました。

続いて、川崎さんがドビュッシーの前奏曲集第2巻より「花火」など、アンコールを含め6曲を披露。修復を終えて元の輝きを取り戻したピアノは、川崎さんの演奏で会場いっぱいに味わい深い音色を響かせ、利用者や職員、同学院の学生ら約300人を魅了しました。



クロイツァーゆかりのピアノを弾く川崎さん

### 東京でも演奏会

修復されたピアノは、10月22日から27日まで東京・丸ビルで開催された「藝大アーツ イン 東京丸の内」でも展示されました。25日にはクロイツァー記念会会長で東京藝術大学音楽学部長の植田克己さんと瀧井客員教授との対談が行われ、植田学部長は自ら演奏も披露。「このような機会を頂けるとは思ってもみなかった」と喜びを語りました。



対談する瀧井客員教授(左)と植田学部長

### グラチア・アート・プロジェクト創設

旭川荘の利用者、職員らが、アートを媒体として「笑顔を共有する場」をつくることを目的とした「グラチア・アート・プロジェクト」。価値あるピアノを“発見”した瀧井客員教授が江草名誉理事長と話し合いを重ね、このほど創設されました。今回のピアノの修復や記念コンサート&グラチア音楽賞、藝大のイベント等はプロジェクトの一環で、来春には岡山でのオペラ公演も予定されています。

こうした活動を支える資金として、瀧井客員教授のご寄付により「グラチア瀧井・アート基金」が設立されました。

## タンゴの名曲堪能 三浦一馬さん訪問コンサート

バンドネオン奏者・三浦一馬さんの訪問コンサートが11月23日、旭川敬老園地域交流ホールで開催され、旭川荘ミュージックアカデミーのメンバーや職員、利用者ら約80人がアルゼンチンタンゴの名曲を堪能しました。

三浦さんは自己紹介の後「今日は持ち時間たっぷり演奏します。バンドネオンの音色を楽しんでください」とあいさつ。タンゴの巨匠ピアノソラ作曲の「アディオス・ノニーノ」や自身のアレンジによる「7月9日」「ラブソディ・イン・ブルー」など8曲をソロ演奏しました。巧みな指使いが紡ぐ美しい旋律と歯切れのよいリズム、哀愁を帯びた音色が会場を包み、1曲終わるたびに客席から大きな拍手が送られました。

訪問コンサートは、演奏家がホールに足を運ぶ機会の少ない子供たちのもとを訪れ、音楽を通じて交流を深めるもので、バイオリニスト五嶋みどりさんが代表を務めるNPO法人「ミュージック・シェアリング」の活動の一つ。6月にあった五嶋さんの訪問コンサートに続き本年度2回目となります。



演奏する三浦さん

# アートギャラリー第4回特別展 受賞作品決まる



旭川荘アートギャラリーは11月6日、特別展受賞作品を発表、表彰式を行いました。特別展は利用者の創作活動にスポットをあて、優れた作品に賞を贈るもので、平成22年のアートギャラリー開館を機にスタート。今回で4回目となります。

荘内15施設143人から延べ323点の応募があり、厳正な審査の結果、名誉理事長賞をはじめ各賞と特選12点が決定しました。表彰式では、仁木壯副理事長より受賞者に表彰状と記念品が手渡されました。名誉理事長賞に輝いたのぞみ寮の糸濱とし子さんは「言葉にならないほど嬉しい」と喜びを語りました。

開催中の特別展では、受賞作品のほか応募作品の一部を加えて計38点を展示。荘内アーティストの感性豊かな作品を観ることができます。今回展示できなかった作品も常設展などで随時お披露目する予定です。会期は2月21日まで、平日午前9時～午後4時、入場無料。

お問い合わせ  
旭川荘アートギャラリー

電話086-275-4647  
(旭川学園内)



- **名誉理事長賞** 「ジャジャジャの結婚式」  
糸濱とし子さん(のぞみ寮)
- **理事長賞** 「楽しい幼稚園」  
正富洋平さん(旭川学園)
- **岡山県食品卸同業会会長賞** 「富士山」  
近田敏明さん(わかば青年寮)
- **旭川荘友の会会長賞** 「スカイツリーと東京タワー」  
青木孝雄さん(デイセンターあかしや)
- **アートギャラリー名誉館長賞** 「手をつなごう(そうすればきっと…)」  
山下幸さん(吉備ワークホーム)
- **特選**  
「六角分子」 渡辺充雄さん(デイセンターあかしや)  
「夏祭り」 河太敏之さん(デイセンターあかしや)  
「幾何学模様の横顔」 武鍬雅弘さん(デイセンターあかしや)  
「大好きな先生」 河本欣阜さん(デイセンターあかしや)  
「ワイングラス」 橘邦彦さん(デイセンターあかしや)  
「踊るあほうに見るあほう」 山本克己さん(いんべ通園センター)  
「夕焼け」 藤原勉さん(旭川敬老園)  
「ダンボとあおむし」 菅規久子さん(竜ノ口寮)  
「夢の世界へ」 黒瀬望さん(旭川学園)  
「紋様(花)」 岡本卓也さん(せとうち旭川荘)  
「まっすぐ立つ人」「土偶」 吉田智喜さん(いづみ寮)



名誉理事長賞「ジャジャジャの結婚式」  
糸濱とし子さん(のぞみ寮)



理事長賞「楽しい幼稚園」正富洋平さん(旭川学園)



岡山県食品卸同業会会長賞「富士山」  
近田敏明さん(わかば青年寮)



旭川荘友の会会長賞「スカイツリーと東京タワー」  
青木孝雄さん(デイセンターあかしや)



アートギャラリー名誉館長賞「手をつなごう(そうすれば  
きっと…)」山下幸さん(吉備ワークホーム)

## 南愛媛療育センター開設10周年

旭川荘南愛媛病院・南愛媛療育センターは、国から移譲を受けて開設後10周年を迎え、12月7日に記念式典、講演会及び祝賀会を盛大に行いました。

式典には旭川荘の役職員や地域の来賓など約160人が



式典で挨拶する末光理事長

出席。末光茂理事長は「今後とも引き続き鬼北町及び南予圏域の地域医療福祉の拠点として、地域住民のお役に立つ病院・福祉施設であり続けたい」と挨拶し、これまで支援していただいた地域の方々に感謝状が贈呈されました。



10周年記念誌

記念講演では、「東日本大震災と日本の未来～人口減時代に生き残る地域～」と題して東北福祉大学の岩淵勝好教授より興味深いお話を聞くことができました。

また、10周年にあわせて、記念誌「ささえる力 よりそう心」が発行されました。

## 在宅重症児・者 モデル事業でケア体制構築

旭川荘では、施設に入所している重症心身障害児・者(重症児・者)のケアに取り組む一方で、自宅などで生活している重症児・者のケアにも力を入れています。今年度、岡山と愛媛の2つの地域で国の「モデル事業」を実施していますので、関連事業とともに紹介します。

(企画広報室 小幡篤志)

### 旭川児童院(小児等在宅医療連携拠点事業)

岡山では古くから在宅ケアを進めています。県の登録制度により在宅重症児・者は約560人と把握されており、その保護者へのアンケート調査を実施。さらに満床傾向が続く新生児集中治療室(NICU)の退院児の地域での受入体制の構築も視野に、岡山、倉敷、津山のNICU設置病院での課題抽出や、訪問介護・訪問看護事業所への研修等を行っています。担当の地域療育センターでは、保護者等からの個別相談も受け付けています。電話 086-275-4518

### 南愛媛療育センター

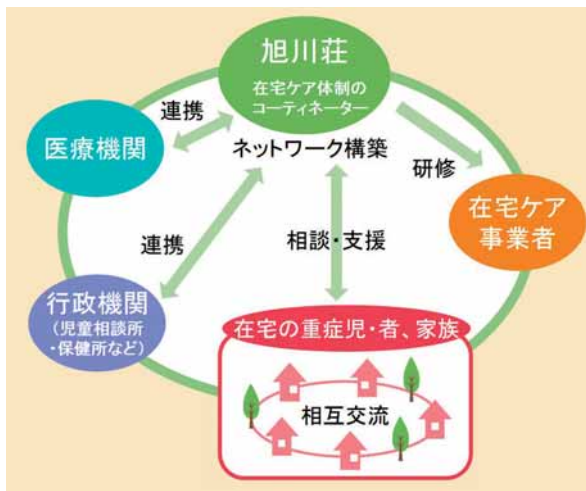
#### (重症心身障害児者の地域生活モデル事業)

南予地域の実態調査からスタートし、約50人の在宅重症児・者がいることを把握しました。地域の関係機関との協力関係を構築しつつ、支援者への講習会や、地域セミナー等を実施。利用者と保護者が交流する「療育キャンプ」には職員などを含め約80人が参加しました。個別相談は地域療育支援センターで受け付けています。

電話 0895-45-1101(代)

### 通園センターの交流会を開催

モデル事業とは別に、児童院、ひらた、いんべ、松山の各通園センターでは、相互の交流会を開いています。11月18日には初めて岡山の全センターが岡山ドームに集合。利用者と保護者、職員など約90人が借り物競争や綱引きなどで交流を深め、会場は笑顔であふれました。



モデル事業のイメージ図



岡山ドームでの交流会

## 川崎病院で写真・作品展

利用者の暮らしの様子を撮った写真や施設で作った製品を通して、障害のある人の自立への取り組みを紹介する「第28回旭川荘写真・作品展」が11月18日から22日まで、川崎病院(岡山市北区中山下)で開催されました。

1階エントランスに設けられた製品コーナーでは、手作りの雑貨や菓子、農産加工品など約90種類、約1500点を展示販売。秋の恒例イベントとあって、オープンと同時に多くの人



利用者の暮らしの様子を紹介する写真



買い物客で賑わう製品コーナー

が訪れ、利用者の丁寧な仕事ぶりや品揃えの豊富さに感心しながら、気に入った製品を買い求めていました。

診察室前の廊下には、絵画の制作や楽器の練習に励む姿、施設の行事を楽しむ様子など、日常の一コマを写した写真約20点が並び、診療を待つ人たちが足を止めて見入っていました。

## 第31回旭川荘医療福祉学会 開催

12月12、13日、旭川荘医療福祉学会が旭川敬老園地域交流ホールで開催されました。学会は、旭川荘職員が日常の業務の中で行った実践的研究や工夫、業務上の課題の整理、海外の視察研究で学んだことなどを報告し、経験の交流を行う場で31回目です。今回の学会では一般演題53題の発表があり、リハビリテーションや療育における実践例のほかに、行政との人事交流や人材確保に関するものもあり、幅広いテーマで報告と意見交換が行われました。

13日には、京都大学iPS細胞研究所の阿曾沼慎司顧問から「iPS細胞の実用化に挑む～現状と課題」と題した特別講演があり、iPS細胞とは何か、また今後期待される研究成果について分かりやすく解説されました。

詳細は次号で紹介する予定です。



iPS細胞に関する特別講演もあった医療福祉学会

## 旭川学園 改築工事起工式

知的障害児・者約60人が入所する「旭川学園」は、昭和32年の旭川荘創立当初に建設された施設の一つで、古い建物は築56年。このたび国と岡山市の補助による耐震化の改築工事が開始されるにあたり、12月9日に起工式が行われました。

江草安彦名誉理事長は挨拶で、建設当時、同学園は欧米の施設も参考にした最新式のものであったことを紹介。「新たな施設は時代をリードする先駆的なものとしてほしい」と述べました。末光茂理事長が鍬入れなどを行い、約50人の参加者が工事の安全を願いました。

今後順次、古い建物を取り壊しながら建設工事を行い、平成27年度の完成を目指します。新しい建物は家庭的な雰囲気でのケアを重視し、3～6人の小規模な個室・ユニット型とする予定です。



起工式で挨拶する江草名誉理事長

## ぶりの照り焼き 紅白なます添え

DHAとビタミンEで防ごう! 動脈硬化

〈材料〉2人分

ぶりの照り焼き		紅白なます	
ぶり	2切れ	大根	80g(2~3cm)
漬けだれ		金時人参	20g(約2cm)
砂糖	小さじ2/3	柚子	適宜
みりん	小さじ1	白すりごま	小さじ1
酒	小さじ1/2	砂糖	小さじ2
しょうゆ	小さじ1と1/3	酢	小さじ2
		塩	少々

〈作り方〉

### ぶりの照り焼き

- ①ぶりをバットに並べて調味料(漬けだれ)に漬け、途中で上下を返して20分ぐらい置く。
- ②焼き網を熱して、盛り付ける面から焼く。
- ③途中で加熱した漬けだれをはけで塗って、照りよく仕上げる。

栄養量:1人前

エネルギー:212Kcal

たんぱく質:14g

塩分:1.2g



### 紅白なます

- ①大根・人参を薄い線切りにし、塩を薄く振りしんなりさせる。
- ②白ごまは炒ってする。
- ③①を軽く絞って②と合わせ、調味料で和える。お好みで柚子のしぼり汁を入れる。

岡山のおせち料理に欠かせない旬の食材が、鯛(ぶり)です。

ぶりは、照り焼きの他、塩焼き、刺身、煮つけ、ぶり大根、粕汁などで幅広く食べられています。瀬戸内では、ツバス、ハマチ、ブリと大きくなるに従って、呼び名が変わる出世魚で、縁起の良いことから、お正月の祝い膳によく登場します。

栄養的にはたんぱく質、脂質、鉄分に富んでいる青身魚です。動脈硬化予防やアンチエイジングなどに効果があるとされるDHAや、ビタミンEなどのビタミン・ミネラルを多く含んでいます。特に血合いの部分に多く含まれています。

冬野菜の大根の紅白なますと取り合わせ、色を愛で、さっぱりとした食感と味を同時に楽しませんか。(フーズセンター 石原美江)



紅白なますの大根や人参は切った後、茹でて柔らかくして使い、合わせ酢に片栗粉等でトロミを付けると、のど越しが良く、飲み込みが少し難しい方にも食べ易くなります。



## 干支にちなんだ置物 いづみ寮で窯出し

いづみ寮で12月5日、干支の午(うま)にちなんだ馬の置物の窯出しが行われました。

干支の置物はいづみ寮が毎年制作している定番製品。躍動感あふれる馬



手びねりで仕上げたオリジナルデザインの置物

の姿をかたどったデザインで、乳白色と茶色の2種類。今回は、板状にした粘土を手びねりで成形したオリジナルデザインの置物(限定5個)も作りました。

支援員の長島慶明さんによると、窯業班の利用者10人が型に粘土を詰める「型入れ」や「底磨き」などの作業を分担。仮焼きを経て釉薬を施した後、ガス窯に火を入れ、最高1230度まで温度を上げて約20時間焼成しました。この日は窯から出して冷ました製品を、一つ一つ並べて仕上がり具合をチェックしました。

定番の馬の置物は、8月に焼き上げたものと合わせて約90個制作。大半は企業や個人からの注文ですが、一部は販売しています。価格は定番、オリジナルデザインとも1個800円。問い合わせはいづみ寮(086-275-1816)へ。

## 星野仙一杯 ティーボール交歓大会を開催

「星野仙一杯 西日本肢体不自由児ティーボール交歓大会」が11月4日、岡山ドームで開催されました。

この大会は、「障害のある子どもたちにも野球の楽しさを知ってほしい」と星野仙一氏(現東北楽天ゴールデンイーグルス監督)から紹介されたティーボールを通じて、施設を利用する子どもたちが交流を深めているもので3回目です。

開会式では、昨年優勝した「かがわりハセンターファイヤーズ」を先頭に5チームが堂々の入場行進。今回から島根県が初参戦し、さらに交流の輪が広がりました。前日「日本一」を決めた星野監督からのメッセージも披露され、あきらめることなく楽天の選手以上の活躍してほしい、と激励を受けました。

「旭川療育園フェニックス」も濃紺のユニフォームに身を包み「打って」「走って」「捕って」大奮闘。大きな歓声に後押しされながら子どもたちがボールを追う姿は、星野監督がメッセージに託した「あきらめない気持ち」そのものでした。優勝は初出場の島根おろちレジェンド、準優勝は旭川療育園フェニックスでした。



ティーボールで交流する子どもたち

## 祇園&ひらた地区で秋の清掃奉仕

祇園地区において、11月9日早朝より、ナカシマプロペラの皆さんによる秋の清掃奉仕活動が実施されました。同社の元社長・故 中島保氏が開始されたこの活動には、同社から約340人が参加。広い敷地が見違えるほどきれいになりました。

また、ひらた地区では11月16日、中電工の45人の皆さんが高所作業車により、かえで寮中庭とれんが道沿いの高枝の伐採を行いました。かえで寮は春に続いて2シーズン連続での枝打ちで、寮舎周辺がとても明るくなりました。

このようなご奉仕により旭川荘利用者の生活基盤となる施設環境が保たれていることを改めて感じました。心より感謝申し上げます。



祇園地区での草刈り

## 板野総括施設長 藍綬褒章を受章

ひらた旭川荘の板野宏一総括施設長が、11月3日、秋の褒章で「藍綬褒章」を受章しました。

板野さんは、昭和44年に旭川荘に就職し、旭川療育園、みどり授産センター(当時)、吉備ワークホーム、のぞみ寮などで勤務。岡山県障害福祉施設等連絡協議会副会長なども歴任し、長年にわたって知的・身体障害児者の福祉の向上に貢献されました。受章について板野さんは「まっすぐに歩んできたことを評価いただけたなら、この上ない喜びです」と語っています。

また、11月15日には、みどりワークセンターの池田章朗顧問と津島児童学院の黒田みき子学院長が厚生労働大臣から社会福祉事業従事功労者として表彰を受けるなど、昨年多くの職員が様々な表彰をいただきました。



受章した板野総括施設長

## 岡山東RCより白梅の植樹

岡山東ロータリークラブの皆さんが白梅を3本植樹してくださいました。これは、同クラブと旭川児童院の井上英雄院長とのご縁により実現したもので、旭川荘総合研究所の庭で11月21日に植樹式が行われました。

式典では、同クラブの石井会長から、総合研究所の完成を記念し、植樹する旨のご挨拶がありました。末光理事長からは、ここは旭川荘が知的障害児の早期療育を先駆的に開始した土地であるとの説明と、「梅」の寄贈に対して感謝の意を述べられました。

植樹に際しては、旭川児童院の利用者も水やりをし、参加者全員で白梅の生長を願いました。きれいな花が咲くのを楽しみにしています。



植樹の様子

### 旭川荘ごよみ

SCHEDULE CALENDAR

#### 1月

- 9日 成人式 ..... 吉備ワークホーム
- 14日 成人を祝う会 ..... わかば青年寮
- 15日 成人式 ..... 南愛媛療育センター
- 16日 第40回新成人祝賀行事 ..... 旭川児童院・睦学園 合同成人式 ..... かわかみ療護園
- 17日 家族会合同研修 ..... いんべ通園センター・せとうち旭川荘
- 17~31日 100枚のマット展(後楽ホテル) ... 愛育寮
- 20日 成人を祝う会 ..... ひらた旭川荘通園センター
- 24日 1次入試(アークホテル) ..... 旭川荘厚生専門学院
- 26日 第16回家族会合同研修会 ..... 知的障害関係施設
- 29日~2月3日 第29回旭川荘写真・作品展(さんかく岡山)
- 開催中 結びの園イルミネーション(~31日)
- 旭川荘アートギャラリー第4回特別展(~2月21日)
- ☆ 新年行事(初詣など) ~各施設

#### 2月

- 1日 重症心身障害児者モデル事業・地域セミナー ..... 南愛媛療育センター
- 15日 第4回医療シンポジウム ..... 北宇和病院
- 27日 卒業演奏会(百花プラザ) ..... 旭川荘厚生専門学院
- 27日~5月23日 常設展(春) ..... 旭川荘アートギャラリー
- ☆ 節分行事 ~各施設

### イベント★100枚のマット展

愛育寮の織工房では、1月17日から後楽ホテル(岡山市北区平和町)で「100枚のマット展」を開催します。古いセーターを再利用し、利用者が丁寧に作り上げた結び織りのマット大小100点を展示・販売。作品は全て、作り手の想いがこもった一点ものです。暮らしを彩るかわいらしいマットをぜひご覧ください。

日時:2014年1月17日(金)~31日(金)

場所:後楽ホテル1階 アートスペース

お問い合わせ(土日祝日を除く) 愛育寮・織工房  
岡山市北区祇園866 TEL086-275-2458

### 編集後記

旭川荘だより、今号からリニューアルです。情報をタイムリーにお届けするため「毎月」発行し、紙面も色鮮やかに、横書きに。もっと旭川荘のことを知っていただけるよう、様々な特集も予定しています。ご期待ください!(広報委員長 小幡)